



公益財団法人かめのり財団主催 「国際交流の新局面 連続セミナー」開催のご案内

ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、弊財団では今年度、「国際交流の新局面」と題したオンライン連続セミナーを実施いたします。

未だ世界は、新型コロナウイルス感染症が経済活動や市民生活に甚大な影響を与え続けている最中にあります。また一方、日本では1990年代以降、生産年齢人口の減少や、製造業・サービス業における生産性の停滞、労働分配率の低下が起これ、青少年の国際交流の場においても当事者や担い手の減少が続いています。他方では、不足する若い労働力を補うため、技能実習制度や特定技能制度などにより十万人に及ぶ途上国からの若者が、日本国内の劣悪な条件や環境のもと働いているという現状があります。

これまで弊財団では、日本とアジア・オセアニア地域の若い世代の交流とその懸け橋となる人材育成を通じて、内外の青少年の友好関係と相互理解の推進に寄与することを目的に、青少年の留学への奨学支援、青少年と教師の交流ならびに、言語教育支援、国際交流・国際相互理解及び人材育成を支えるための基盤支援を積み重ねてまいりました。

そして今、国際交流や多文化共生、さらには困窮する在留外国人のための活動を行う団体や事業を支援するとともに、それらの取り組みを社会へ発信し、今後どのような取り組みが求められるのかを検討する機会を持つことが期待されていると考えます。

その期待に応えるため、

- ① 青少年の国際交流はどのような状況にあるか。支援する活動・団体はどのように対応し、今後どのような対応を準備・検討しているか。
- ② 地域における多文化共生や外国人の就労はどのような状況にあるか。支援する活動・団体はどのように対応し今後どのような対応を準備・検討しているか。
- ③ 国際交流や多文化共生の促進を支援する助成機関はどのように対応し、今後どのような対応を準備・検討しているか。

という3つの領域に焦点を当て、全4回連続セミナーを開催いたします。

ご多忙とは存じますが、ぜひご参加を賜りたくご案内申し上げます。参加方法や登壇者の詳細につきましては、別紙をご覧ください。当日のご参加が難しい場合は、後日セミナーの採録記事を弊財団ホームページに掲載する予定ですので、ご高覧いただければ幸甚に存じます。

末筆ながら、皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げますとともに、感染症流行の一日も早い収束を心よりお祈りいたします。

公益財団法人かめのり財団
理事長 木村 晋介

主 催： 公益財団法人 かめのり財団

運営協力：IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] <https://blog.canpan.info/iihoe/>
有限会社エコネットワークス <https://www.econetworks.jp/>

お問合せ：公益財団法人かめのり財団 <https://www.kamenori.jp/>

電話 03-3234-1694 E-mail info@kamenori.jp

国際交流の新局面 連続セミナー 全4回 概要

各回 日時・テーマ	ご登壇者（法人格略）
第1回 2021年11月24日（水） 16:00-18:00 青少年の国際交流の 「これまで」と「これから」	河野淳子氏 AFS 日本協会 理事・事務局長 長澤慶幸氏 同志社大学国際連携推進機構国際センター留学生課長 伊藤章氏 国際ボランティア学生協会（IVUSA）理事
第2回 2021年12月3日（金） 16:00-18:00 地域における多文化共生や 外国人の就労の「これまで」と「これから」	田村太郎氏 ダイバーシティ研究所 代表理事 鈴木江理子氏 国士舘大学 文学部 教授 吉水慈豊氏 日越ともいき支援会 代表理事
第3回 2021年12月13日（月） 16:00-18:00 国際交流や多文化共生を支援する 助成プログラムの「これまで」と「これから」	渡邊邦弘氏 三菱 UFJ 国際財団 専務理事 矢富明德氏 佐賀県国際交流協会 企画交流課長 松村渉氏 ひろしま NPO センター プロジェクトマネジャー
第4回 《総括》 2021年12月14日（火） 16:00-18:00 経過と見通しから、 学べきこと・備えるべきこと	川北秀人氏 IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 兼 ソシオ・マネジメント編集発行人

* 各回の詳細を次ページ以降にご案内しています。ご参照ください。

開催方法：本セミナーは Zoom を利用したオンライン開催です。

お申込み：各回、事前にお申込みをお願いいたします。

以下の各回 URL からお申込みフォームへアクセスしてください。

ご参加希望回ごとに、ご所属団体・お名前・メールアドレスを入力いただきます。

第1回：11月24日（水）

<https://forms.gle/YtjqJjHwXmxuxs61A>

締め切り 11月19日（金）

第2回：12月3日（金）

<https://forms.gle/3U55uvKoGhLowXnD6>

締め切り 12月1日（水）

第3回：12月13日（月）

<https://forms.gle/BkmJWbnWRPQoe1Zu6>

締め切り 12月9日（木）

第4回：12月14日（火）

<https://forms.gle/tCwoxybP3hWPb5HJ9>

締め切り 12月10日（金）

開催日が近づきましたら、Zoom 視聴用の URL をご連絡差し上げます。

参加費：無料（登壇者の所属団体へのご寄付は歓迎いたします）

その他：後日、各回の抄録や資料を、当財団のウェブサイトに掲載予定です。

第1回 青少年の国際交流の「これまで」と「これから」

2021年11月24日（水） 16:00-18:00

河野 淳子（かわの じゅんこ）氏

公益財団法人 AFS 日本協会 理事・事務局長

高校時代に AFS 交換留学生としてオーストラリアに留学。津田塾大学学芸学部英文学科在学中に AFS ボランティア活動に参加し、海外からの留学生、受入家庭の支援に携わる。卒業後、株式会社リクルートに入社。企業への女性活用や海外人材採用の促進に携わる。1992 年 1 月より AFS 日本協会に入職。世界 60 以上の国・地域との間で高校生を中心とした年間一千人規模の異文化教育交流を企画、運営。2017 年 7 月より現職。事務局運営の傍ら AFS 国際本部理事会の各国代表委員としてネットワークの開発、危機管理に携わる。



AFS 日本協会：<https://www.afs.or.jp/>

長澤 慶幸（ながさわ よしゆき）氏

同志社大学 国際連携推進機構国際センター留学生課長

同志社大学法学部卒業。1994 年入社。商学部・商学研究科事務室、学生支援センター京田辺校地学生支援課、国際連携推進機構日本語・日本文化教育センター国際教育課などを経て 2016 年より現職。外国人留学生入学試験の実施・広報、外国人留学生の受入れ、外国人留学生の生活支援、短期受入れプログラムなどに携わる。



同志社大学：<https://www.doshisha.ac.jp/>

伊藤 章（いとう あきら）氏

特定非営利活動法人国際ボランティア学生協会（IVUSA） 理事

愛知県出身。京都大学卒。地域でのボランティア活動と教育機関での学習とを結びつけた「サービス・ラーニング」のプログラム開発や普及にかかわる。IVUSA では、組織管理全般およびフィリピンでの環境保全や減災教育、海ごみ問題対策キャンペーンなどの事業を担当。学生が社会課題を理解するためのワークショップや研修なども実施している。



国際ボランティア学生協会（IVUSA）：<https://www.ivusa.com/>

第2回 地域における多文化共生や 外国人の就労の「これまで」と「これから」

2021年12月3日（金） 16:00-18:00

田村 太郎（たむら たろう）氏

一般社団法人ダイバーシティ研究所 代表理事

兵庫県生まれ。阪神・淡路大震災で被災した外国人への支援を機に「多文化共生センター」を設立。自治体国際化協会参事などを経て、2007年1月から「ダイバーシティ研究所」代表として人の多様性に配慮のある組織や地域づくりに携わる。自治体や国際交流協会、NPO職員を対象とした「多文化共生マネージャー」の養成にも注力しており、2020年現在で500人を超えるマネージャーが全国でネットワークを形成。復興庁復興推進参与。大阪大学客員准教授等も兼務。共著に「阪神大震災と外国人」「多文化共生キーワード事典」などがある。

一般社団法人ダイバーシティ研究所：<http://diversityjapan.jp>



鈴木 江理子（すずき えりこ）氏

国土館大学 文学部 教授

一橋大学大学院社会学研究科博士課程修了。博士（社会学）。移住者と連帯する全国ネットワーク副代表理事、多文化共生センター東京理事、かながわ国際交流財団理事等を兼任。移民政策や人口政策、労働政策を研究するかたわら、外国人支援の現場でも活動。主著に『「多文化パワー」社会』（共編著）、『日本で働く非正規滞在者』（単著、平成21年度冲永賞）、『非正規滞在者と在留特別許可』（共編著）、『新版 外国人労働者受け入れを問う』（共著、2019年）、『アンダーコロナの移民たち』（編著）など。

国土館大学：<https://www.kokushikan.ac.jp/>

移住者と連帯する全国ネットワーク：<https://migrants.jp/index.html>

多文化共生センター東京：<https://tabunka.or.jp/> かながわ国際交流財団：<https://www.kifjp.org/>



吉水 慈豊（よしみず じほう）氏

NPO法人日越ともいき支援会 代表理事

浄土宗僧侶。ベトナム人技能実習生、留学生などが若くして命を落とすことに憤りを感じ、2014年より『命と人権を守る』支援活動を行う。日本にいる在留ベトナム人技能実習生、留学生の数が増え続ける中、劣悪な環境に置かれている彼らの相談対応もコロナ禍に急増。昨年、『日越ともいき支援会』は東京都より非営利活動法人としての認可も受け、その支援活動は相談の枠を超え、住居の確保、労使交渉にまで及ぶ。ベトナム人の命と人権を守る活動を通して、『ともに生きる』社会の実現することを目指している。

日越ともいき支援会：<https://nv-tomoiki.or.jp>



第3回 国際交流や多文化共生を支援する 助成プログラムの「これまで」と「これから」

2021年12月13日（月） 16:00-18:00

渡邊 邦弘（わたなべ くにひろ）氏

公益財団法人三菱 UFJ 国際財団 専務理事

上智大学外国語学部ドイツ語学科卒。1985年三菱銀行（現三菱 UFJ 銀行）入行。大学時代の経験、銀行時代の海外勤務、国際部門勤務の経験から国際交流と人材育成に関心を持つ。2018年より公益財団法人三菱 UFJ 国際財団勤務。財団では海外の大学生への奨学金、日本で学ぶアジア諸国からの留学生への奨学金、国際交流活動を行う団体への助成金等を担当。また、キャリアコンサルタントの国家資格保有者として、学生、交流団体の皆様へキャリアプランについてのコンサルティングを行っている。



三菱 UFJ 国際財団：<http://www.mitsubishi-ufj-foundation.jp/>

矢富 明德（やどみ あきのり）氏

公益財団法人佐賀県国際交流協会 企画交流課長

約10年間の企業勤務の後に渡米し、留学や日系企業での勤務を経験し帰国。2011年、佐賀県国際交流協会に入職し、現在に至る。この間、社会情勢の変化とともに佐賀県国際交流協会では活動の柱が国際交流から多文化共生へシフト。2016年の熊本地震、2019年、2021年の佐賀での豪雨災害においては、外国人支援活動に従事。佐賀における防災や子供の居場所づくりに関する市民活動団体のネットワークにも外国人関係団体として参画中。（一財）自治体国際化協会認定 多文化共生マネージャー。



佐賀県国際交流協会：<https://www.spira.or.jp/>

松村 渉（まつむら わたる）氏

NPO 法人ひろしま NPO センター プロジェクトマネジャー

2010年ひろしま NPO センター入職。2014年～2018年は地域づくり支援を主とするシンクタンクに転職、2018年にひろしま NPO センターに再入職し現在に至る。ひろしま NPO センターでは協働コーディネート、CBSB、ボランティア・プロボノ、災害復興支援、ファンドレイジング、NPO 組織基盤強化等に関わり、2019年からは休眠預金（中国5県休眠預金等活用コンソーシアム）を主に担当。コンソーシアム型資金分配団体の社会的インパクト評価について頭を悩ませる日々。

ひろしま NPO センター：<http://npoc.or.jp/>



国際交流の新局面 連続セミナー

第4回《総括》経過と見通しから 学ぶべきこと・備えるべきこと

2021年12月14日（火） 16:00-18:00

*第1回～第3回の内容を踏まえ、各セクターが今後取り組むべき対応について解説します。

講師 川北 秀人（かわきた ひでと）

IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者

兼 ソシオ・マネジメント編集発行人

大阪生まれ。1987年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。広報や国際採用などを担当して1991年退社。その後、国際青年交流 NGO の日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、1994年にIIHOE設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任（CSR）への取り組みを支援するとともに、市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている。（特）JEN 共同代表理事（2004年から2010年、2018年より再任）、（一財）日本民間公益活動連携機構 評議員（2018年より）など。また2008年より、かめのり財団の顕彰事業・助成事業の委員兼アドバイザーを務める。



IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] : <https://blog.canpan.info/iihoe/>